



皆様、こんにちは。日頃よりご理解をいただきご支援賜りまして誠にありがとうございます。

昨年11月定例会におきまして、富山県議会在職10年表彰をいただきました。これもひとえに皆様方のお陰でございます。福光町議会議員にさせていただきました18年前、弱い人のための政治を掲げ、住民と膝を突き合わせ、悩みや苦しみを話し合う政治を心がけてまいりました。怠けることのないよう、多くの方々に背中を押していただき、時には頭を叩いていただきました。当時の初心を忘れることなく、これからも住民主体の政治を目指していきます。

さて、平成30年に入り国会の混乱に憤りを感じますし、地方創生の行き届いていない富山県、南砺市においては、市民・県民一人一人がさらなる行動力を示していかなければならないのではないかと思います。南北融和や米朝の初の会談は日本にとってプラスになると信じておりますが、この事による、拉致被害者返還など富山県に及ぶ成果を上げていただきたいものです。

北陸新幹線が開業し早3年、経済効果はどうなのか、金沢の独り勝ちではないのか！まだまだ検証は必要ですし、これからの努力目標も大切です。

政策立案のため、県民の皆様方の血税を使わせていただき、調査研究や視察等に出かけておりますが、良い先進地や優れた自治体・団体企業の真似をしながら進化や変化を遂げ、県民に納得いただけるよう見える化を実現したいと思っております。

今年も半年が過ぎようとしておりますが、皆様と共に考え行動する議員として頑張っております。今後とも、辛辣なご意見をいただければ幸いです。

武田 慎一



利賀村新山土砂流出災害対応を視察



県民の皆様方のお陰をいただき、富山県議会議員在職10年

PRESS

**有識者検討委を設置 県整備の可能性探る**  
 全天候型多目的施設  
 H30.3.1 北日本新聞より

**災害対策本部室を常設**  
 完成 危機管理センターに  
 H30.3.1 北日本新聞より

**「危機管理センター」建設**  
 県庁に22年度 災害対策本部室常設  
 H30.3.1 読売新聞より

**代表賞状**  
 近美跡地民間活用も  
 H30.3.1 北日本新聞より

**代表賞状**  
 観光地域振興のため山本 徹副議長とエキストラとして参加  
 大和田伸也さん 橋本マナミさんと共に  
 H30.3.1 北日本新聞より

**代表賞状**  
 3月21日 スポーツ振興を図るため 市民スキー大会もガッツで出場！  
 H30.3.1 読売新聞より

平成30年度

**たけだ慎一 県政報告会・政策勉強会・意見交換会のご案内**

日時 平成30年7月1日(日) 場所 福光中央会館  
 県政報告会 17:00~ 会費 2,000円  
 政策勉強会 18:00~  
 意見交換会 19:00~

4月29日富山湾岸サイクリングに出場し 観光振興やスポーツ振興政策課題を模索

住所 南砺市福光栄町1036-2 パークサイドアベニュー栄町1F

**たけだ慎一 県政通信** Vol.60 H30年6月発行

■ 発行所：なんとと夢づくりの会 ■ 発行責任者：武田慎一  
 〒 939-1637  
 南砺市福光西町1543 TEL (0763) 52-6435  
 24時間365日ホットライン 090-3760-0106 (悩み・不安・痛み・苦しみなど何でも相談)  
 Hp <http://www.t-shinichi.com/> e-mail: shin\_3000jp@yahoo.co.jp  
 尚この県政通信は「たけだ慎一」のホームページでも見る事が出来ます



# 平成29年度 2月定例会代表質問 一部抜粋

## 問1 行財政運営について

Q. 新年度当初予算では何を重視し、どのような特徴を持った予算編成としたのか、また、新総合計画をどのように反映させたのか、所見を問う。

- 平成29年度2月補正予算と合わせたいわゆる14ヶ月予算の政策経費では、前年度比5.9%増と積極的な予算となったところである。「新総合計画推進枠」に54.7億円を計上し、①立山黒部のブランド化をはじめとした観光振興、②特色ある教育活動の推進やICT化やトイレの様式化等の環境整備など教育の振興、県大新棟整備、③中山間地域など活力ある地域づくり、④防災・危機管理センター（仮称）の整備など安全・安心の確保、⑤女性の活躍やエイジレス社会の実現など、新総合計画の政策目標の実現に効果が見込める重点施策を数多く盛り込んだ。

## 問2 とやまの未来創生を深化させる取組みについて

Q. 立山黒部の世界ブランド化に向け、弥陀ヶ原火山の噴火に備えた安全対策にどのように取り組んでいくのか、所見を問う。

- 現在作成中の火山ハザードマップ等を踏まえ、景観や観光面への影響、自然公園法の規制などにも考慮しながら、火山防災協議会において、事業主体・整備方法・スケジュール等を具体的に検討・協議して、また、財政面でも国に必要な支援を要請してまいりたいと考えている。

Q. 富山県美術館の全面開館から約半年が経過したが、これまでの来館者数や美術館周辺に与えた影響をどのように評価し、県美術館のコンセプトの実現に向け、今後どのように運営していくのか、また、役割を終えた旧県立近代美術館の後利用について、どのように検討しているのか、併せて問う。

- 今後とも、アートとデザインをつなぐ美術館として、また、富岩運河環水公園などと一体となった、日本海側トップクラスの観光拠点として、その魅力発信に積極的に取り組んでまいりたい。近代美術館の土地建物の利用については、公共施設等総合管理方針を踏まえ、民間活力の活用も含めて、幅広く検討してまいりたい。

Q. あいの風とやま鉄道の新駅について、どのようなスケジュールで整備するのか、駅の設置箇所や見込まれる設置効果も含め、所見を問う。

- 新年度予算案に「富山駅-東富山駅間」の新駅設置に係る詳細設計費を計上したところである。

## 問3 地域経済の活性化について

Q. 更なる誘客を図るとともに、1人当たりの旅行支出を増加させることが重要であるため、観光戦略として、広域連携の推進や、着地型観光商品の開発にどのように取り組んでいくのか、所見を問う。

- 岐阜県と連携した中京圏からのドライブ客やアジア等からの誘客、東京都と連携した欧米からの誘客にも取り組んでまいりたい。

Q. 富山新港開港50周年を契機として、伏木富山港の将来像をどのように描き、港湾整備にどのように取り組んでいくのか、問う。

- 富山新港開港50周年にあたり官民連携して記念事業等を実施することとしており、これを機に伏木富山港が日本海側の総合的拠点港として更に発展するよう、物流の活性化やクルーズの振興に連携してしっかりと取り組むとともに、必要な施設整備を進め港湾機能の強化を図ってまいりたい。

Q. 「富富富」の作付け面積が想定を大きく下回った要因をどのように認識し、高級ブランド米の生産に関する農業者への啓発、乾燥施設の確保など、今後どのような対策を講ずるのか、また、市場シェアの確保と県産コシヒカリを上回る高価格の実現に向け、どのように取り組んでいくのか、問う。

- 「富富富の販売戦略」を基に、コシヒカリを上回る価格帯での流通販売を目指し、県内や首都圏を中心に、認知度の向上やファンの獲得につながるよう、①CM放映等メディアを活用したPR、②販売店等でのキャラバンの実施、③集客力の高い商業施設や有名料理店と連携したイベントの開催など、効果的なプロモーション活動を積極的に展開してまいりたい。

## 問4 安心・安全な暮らしの実現について

Q. 民間企業による除雪機械の保有、更新が困難になっていることやオペレーター不足に対応して、貸与除雪車の拡充、オペレーターの育成、操縦技術向上の支援、委託経費の適切な設定などが求められるが、今後、除雪体制の維持、確保にどのように取り組んでいくのか、所見を問う。

- 今冬は、昭和38年の豪雪にも匹敵する降雪量となっているが、被害を受けた方には心からお見舞い申し上げる。県管理道路においては、一部に倒木等による通行止めや著しい渋滞が発生したものの、幸い大きな支障がなく道路交通を確保することができた。このことは、昼夜を問わず除雪作業に従事されている建設企業等の方々のおかげであり、感謝を申し上げる。石井国土交通大臣や総務省事務次官等に対し、県及び市町村が要する除雪経費に対する財政支援について、強く要望したところである。必要な予算を確保して道路除雪等に万全を期すなど、県民の安全・安心の確保に全力で取り組んでまいりたい。

Q. 障害者の雇用に関するこれまでの取組みの成果や問題点を踏まえ、改正障害者雇用促進法の施行に伴う新たな基準による法定雇用率の達成のために、今後どのように企業に対し働きかけていくのか、また、新たに追加となった精神障害者雇用の周知や、民間企業等への支援にどのように取り組んでいくのか、問う。

- ①法定雇用率を達成していない企業が4割を超えており、また、②未達成の企業のうち障害者を雇用していない、いわゆる雇用ゼロ企業が6割近くを占めていることから、今後、障害者雇用に対する理解を一層促して、雇用率を高めていく必要がある。企業経営者を対象としたトップセミナーの開催や、企業の障害者雇用担当者への個別指導などに取り組むこととしている。本年4月から拡充される国の助成金制度の周知をはじめ、労働局等と連携して、企業に積極的に働きかけるなど、障害者雇用の促進にしっかりと取り組んでまいりたい。

Q. 人生100年時代の到来を見据えると、健康寿命の延伸は必然と考えるが、新総合計画にある「健康寿命日本一を目指す総合対策の推進」のため、どのような施策に取り組んでいくのか、問う。

- 今年度は、家庭での野菜摂取を促進するためのキャンペーンの展開や、野菜たっぷりや減塩などのメニューを提供する飲食店を対象とした「健康寿命日本一応援店」の募集、スマートフォンを活用して健康づくりに取り組む健康ポイント制度の実施などに取り組んでいる。

Q. 「立山黒部」の世界ブランド化により、更なる観光客や登山者の増加が見込まれるが、来訪者の増加に対応した山岳遭難対策の充実・強化に向け、「日本一の山岳救助集団」の名にふさわしい山岳警備隊とするため、今後どのように取り組んでいくのか、問う。

- 「立山黒部」世界ブランド化に伴い、更なる変化が見込まれる山岳情勢に迅速的確に対応するため、山岳安全対策を専門に所管する所屬として山岳安全課を新設し、これまで本部地域課に附置していた山岳警備隊を移管する。今後も迅速的確に山岳警備活動を行うため、最先端の遭難救助技術の習得や最新の救助資機材導入にも努め、世界に誇る山岳警備体制の確立に向けて努力してまいりたい。

## 問5 明日を拓く人づくりについて

Q. 再編後の県立高校の将来を見据えた高校教育の充実強化について、今後、どのように取り組むのか、問う。

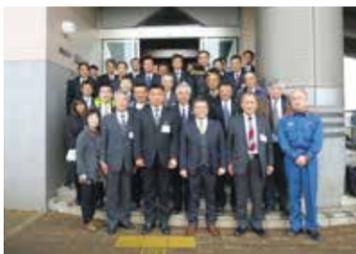
- 学校の施設・設備面では、全ての生徒用トイレの洋式化を今後3年間で進めるとともに、再編8校を優先し、入善高校と南砺福野高校の武道場や富山北部高校のテニスコートなどの整備を進め、生徒の指導・支援の面でも、スクールカウンセラーの配置とスクールソーシャルワーカーの派遣を大幅に拡充することとしている。再編統合の対象とされた高校の跡地利用については、地方創生の観点などを勘案し、地元住民の希望を考慮しながら、対象市町村等が行う地域の活性化方策の検討に対して支援することとしている。少子高齢化・人口減少やグローバル化、第4次産業革命の進展など、教育を取り巻く環境が大きく変化中、再編後の県立高校の将来を見据え、生徒や県民の皆さんに、再編によって、よりよい、そして活気のある高校教育の実現につながったと思っていただけるようこの問題については精一杯取り組んでまいりたい。



富山県PTA連合会との意見交換会



福野・福光スキー大会に金沢大学競技スキー部員が、お手伝いし、これぞ地域おこし協力隊



糸魚川駅北大火の課題と取組を視察



国土交通省北陸地方整備局幹部へ要望活動



同志！奥野詠子議員ご結婚おめでとうございます！政策実現を目指して共にがんばろう



立山黒部世界ブランド化を目指し視察は入念に！



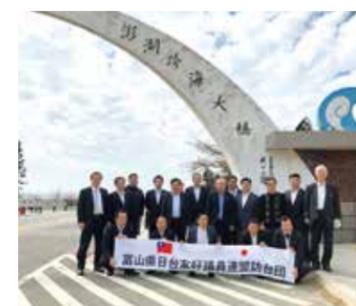
富山県が誇る平昌オリンピック出場、広野あさみ選手の激励会で



県政報告は分かりやすく、積極的に



30年度予算に対する施策提言を



富山県日台友好議員連盟、世界で最も美しい湾クラブ加盟県として、取組み等を視察



冬季スキー国体開催に向け開催地予定スキー場関係者と打合せ